

新たな防災気象情報の運用を踏まえた令和 8 年 6 月台風対応について

本年 5 月 29 日から、新たな防災気象情報の運用が開始された。

その直後の 6 月には、関東地方に台風が相次いで接近し、区は新たな情報体系の下で対応を行ったところである。今回の台風対応の状況及び対応を通じて把握した課題及び今後の対応について報告する。

1 新たな防災気象情報について

従来、防災気象情報は現象ごとに情報体系が異なっていたが、新たな防災気象情報では、自治体が避難情報発令を判断する際の基礎となる大雨、河川氾濫、土砂災害及び高潮に関する情報が 5 段階の警戒レベルに統一された。これにより、危険度や住民がとるべき行動との関係がより明確となった。

2 令和 8 年 6 月の台風対応について

(1) 台風第 6 号

ア 気象情報の発表状況及び区の対応

日時	主な状況・発令情報	区の対応
6 月 2 日	気象庁の時系列情報により 警報級の可能性が示される。	
6 月 3 日 6 時 00 分		早期監視態勢発令
6 時 58 分	レベル 3 大雨警報発表	
7 時 10 分	レベル 4 氾濫危険警報発表 (善福寺川)	河川監視強化
8 時 16 分	環状七号線地下調節池流入開始	
8 時 25 分	レベル 4 氾濫危険警報発表 (神田川)	情報連絡態勢発令 自主避難所開設
↓		巡視警戒、関係機関との 情報共有を実施
14 時 28 分	大雨警報解除(注意報へ切替)	
14 時 50 分	善福寺川氾濫危険警報解除	
15 時 10 分	神田川氾濫危険警報解除	
16 時 10 分	大雨注意報解除	態勢解除

※ 善福寺川及び神田川については、神田川・環状七号線地下調節池への流入により水位が安定したことから、避難指示の発令には至らなかった。

イ 治水対策施設の稼働状況

調節池名	貯留量（貯留率）
神田川・環状七号線地下調節池	237,100m ³ （44％）
下高井戸調節池	200m ³ （1％）
北江古田調節池	流入なし
妙正寺川第一調節池	
妙正寺川第二調節池	
上高田調節池	
鷺宮調節池	流入なし
和田堀公園調節池	
和田堀第六調節池	
善福寺川調節池	9,700m ³ （28％）

ウ 被害状況等

- ・被害なし
- ・自主避難者2名受け入れ

(2) 台風第7号及び台風第8号

ア 気象情報の発表状況及び区の対応

日時	主な状況・発令情報	区の対応
6月26日	気象庁の時系列情報により 警報級の可能性が示される。	
6月27日 6時00分		情報連絡態勢発令 自主避難所開設
↓		河川水位監視、関係機関 との情報共有、土砂災害危 険箇所の巡視警戒を実施
15時30分	降雨の収束	態勢解除

イ 被害状況等

- ・被害なし
- ・自主避難者なし

3 課題及び今後の対応

(1) 区民への周知

新たな防災気象情報の運用開始に伴い、情報の意味や警戒レベルに応じた避難行動との関係について、更なる理解の促進が必要であることから、区民へのより一層の周知を図る。

(2) 関係機関との情報共有

通園・通学に関する問合せが多く、また登下校時間帯等と気象警報や河川情報の発表が重なる場合においては、学校等や地域ごとに河川との位置関係や通学路の状況が異なることから、児童・生徒の安全確保に向け、教育委員会及び学校等との情報共有を進める。

(3) 避難情報発令判断の整理

レベル4情報発表時における避難指示発令に当たっては、河川水位、降雨状況、治水対策施設の稼働状況等を総合的に勘案する必要があることから、避難指示発令の考え方について整理を進める。